

創立100周年記念誌

# 山靈生英傑

さんれいえいけつをうむ

平成13年(2001)

長野県木曾山林高等学校

題字「山靈生英傑」伊沢修二書

右以外の筆字 今井弘幸（43回）

扁額・絵画（一部）・工芸品写真撮影

清沢写真事務所



## 「山靈生英傑」

(山靈英傑を生む)  
さんれいえいけつ

伊沢修二書 扁額 本校蔵

これは伊沢修二が、本校創設を記念して揮毫されたといわれている扁額である。本校に学ぶ者に、都塵を排し、自然と一体となつて山に生き、山の魂にふれ、有為な人材に育つように諭しておられる。

爾来一世紀、たえず教職員はじめ生徒の目にふれる所に掲げられ、ここに学ぶすべての者の座右の銘となつた。校門脇の自然石に刻まれた「山を愛す」の碑と共に、本校の心である。

この度、一〇〇周年記念誌を編纂するにあたり、山に学び山靈に育まれた若者たちの足跡を尋ね、二十一世紀を展望した。こうした中で本校一〇〇年を表す、最も相応しい言葉として「山靈生英傑」に至り、本書の書名とした。

伊沢修二(一八五一―一九一七)は、高遠藩士の家に生まれ、アメリカ留学等によつて、広い見識を養い、わが国学校教育の黎明期に大きな貢献をした。小学校課程に唱歌を採用するなど、特に音楽教育に尽力した。東京芸術大学の前身、東京音楽学校の初代校長を務めた近代教育の開拓者である。



大日本山林会幹事長田中芳男書（明治40年11月6日）



昭和38年10月、校舎の全面改築を記念して「山を愛す」の碑が建立された。  
改築期成同盟会長の中村治郎蘇門会長（16回）が、揮毫した。

# 校 歌

吉岡郷甫 作詞  
松村伍鹿 作曲

*mf*

く もい に そ びゆ る み たけ の ふ も と

は ぎま に か よえ る き そじ の ほ と り

*f*

せ んしゅ う か わら ぬ み どり を こ め て

こ ぼく は おい た つ み く に の は や し

# 校 歌

作詞 吉岡郷甫  
作曲 松村伍鹿

- 一、雲井に聳ゆる御殿のふもと  
峽間に通える木曾路のほろろ  
千秋変らぬ緑をこめて  
五木は生い立つみ國の林
- 二、み國の五木は我等をかこみ  
左手に書取り右手には鉄を  
朝夕はなきぬ我等のために  
示やう挽まぬ雄々しき姿
- 三、乞う見よ我等が樹藝の力  
赤裸の山にも真木生い立てば  
木蔭に玉噴く泉も湧きや  
荒ぶる川の瀬流れはわむ
- 四、濁らぬ蘇水と我等のかがみ  
直なる檜と我等の乾に  
み國に盡すと心となりや  
地ゆまず勵まん学びの業を  
(大正三年六月制定)

## 校 旗



新校旗（平成6年より）



旧校旗（大正4年より）

## 歴 代 校 長



初代 松田力熊校長  
明治34年5月～40年9月



2代 江畑猷之允校長  
明治40年9月～大正1年8月



3代 安藤時雄校長  
大正1年8月～3年10月



4代 七宮純雄校長  
大正3年10月～9年3月



5代 岡部喜平校長  
大正9年3月～昭和6年3月



6代 中村三郎校長  
昭和6年3月～8年11月



7代 高久常敬校長  
昭和8年11月～12年9月



8代 石田恭吾校長  
昭和12年9月～17年11月



9代 渡邊 勇校長  
昭和17年11月～23年9月



10代 横内鎰男校長  
昭和24年4月～29年3月



11代 古屋 清校長  
昭和29年4月～34年3月



12代 上條善昌校長  
昭和34年4月～39年3月



13代 巢山武雄校長  
昭和39年4月～41年3月



14代 鷹野貞雄校長  
昭和41年4月～43年3月



15代 今井邦男校長  
昭和43年4月～48年3月



16代 芦部隆彦校長  
昭和48年4月～52年3月



17代 牧野嘉雄校長  
昭和52年4月～54年3月



18代 清水吉平校長  
昭和54年4月～56年3月



19代 古川彦次校長  
昭和56年4月～58年3月



20代 橋渡良知校長  
昭和58年4月～62年3月



21代 二木重光校長  
昭和62年4月～平成3年3月



22代 柗原満雄校長  
平成3年4月～7年3月



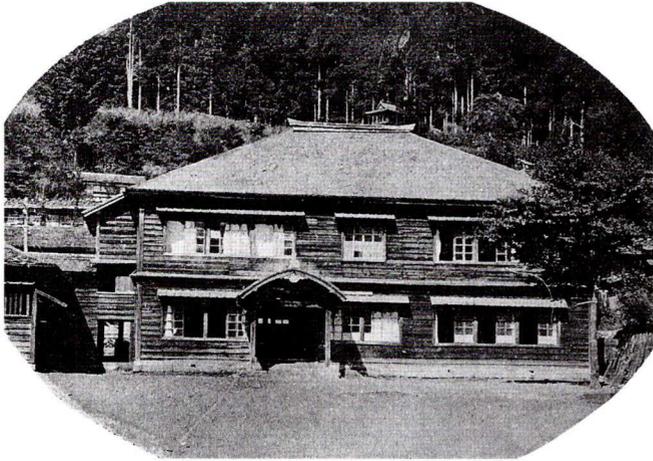
23代 一條春雄校長  
平成7年4月～9年3月



24代 永田勝男校長  
平成9年4月～11年3月



25代 宮崎胤門校長  
平成11年4月～12年3月



## 校舎の 移り変わり

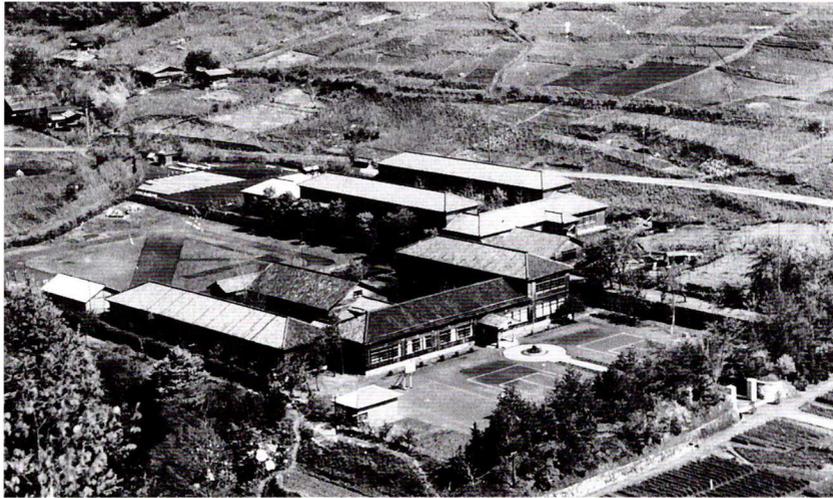
西筑摩郡立高等小学校の校舎を受け継いで、明治34年本校が開校した。写真は当時の校舎。現在の福島会館の辺りである。



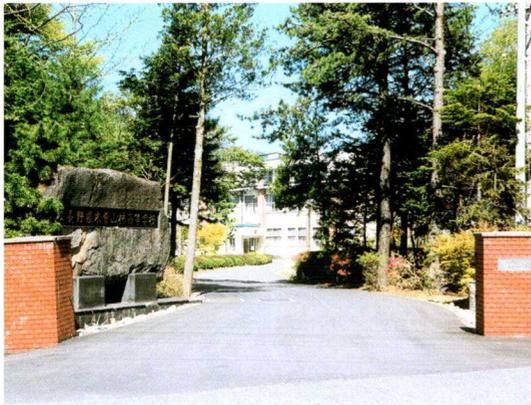
大正元年、現在地（新開）に移転、新築した校舎



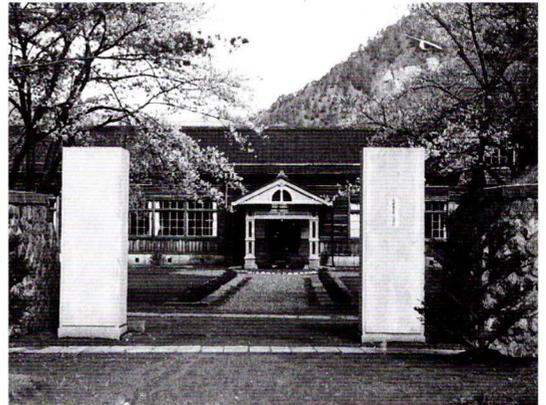
昭和38年、現在地での校舎全面改築を行った。その後、林業棟・インテリア棟などが建て替えられ、現在に至っている。



旧校舎全景（昭和初期）



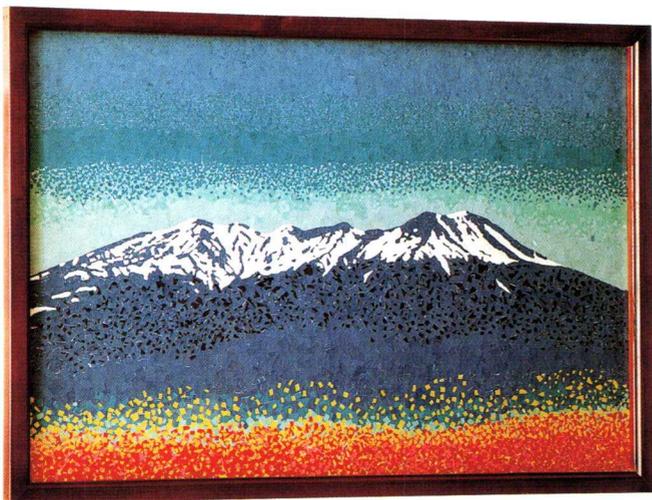
校門（現在）



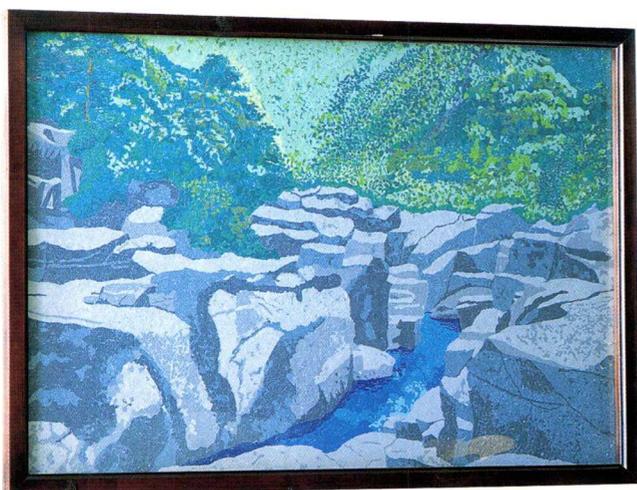
校門（旧）



現在の校舎全景

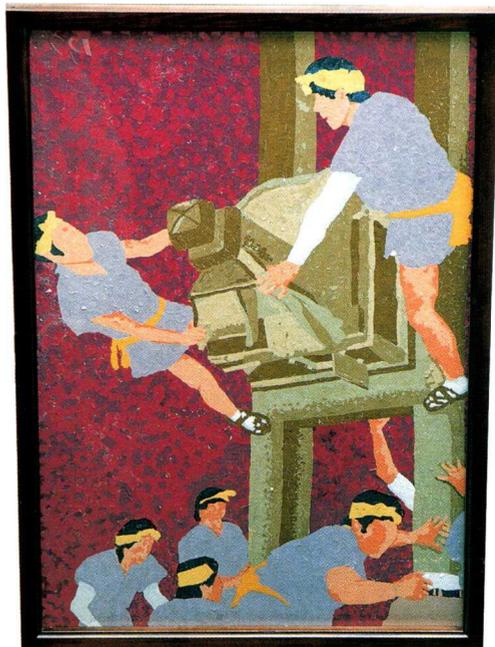


御嶽山 2年生作品



寢覚の床 1年生作品

一〇〇周年記念  
全校生徒によるはり絵作品  
(平成十二年度生徒会)



御輿まくり 3年生作品



学校生活①

授業「森林経理学」重本勝教諭  
 (昭和12年) ころ  
 橋渡敬一 (35回) 蔵



体操の授業 (昭和18年頃)



弓術部  
 撃剣部 (大正元年)  
 庭球部



修学旅行（明治時代）

## 学校生活②



第3回長野県護国神社体育大会射撃部 優勝（昭和15年）  
田沢兵司（38回）蔵



フィリピン植林ボランティアに参加  
（平成9年3月）高島顕教諭蔵



昭和初期の大運動会



望岳寮のクリスマスパーティ  
(昭和40年代)



ついに入場者が1000人を超えたひのき祭 (平成11年度)



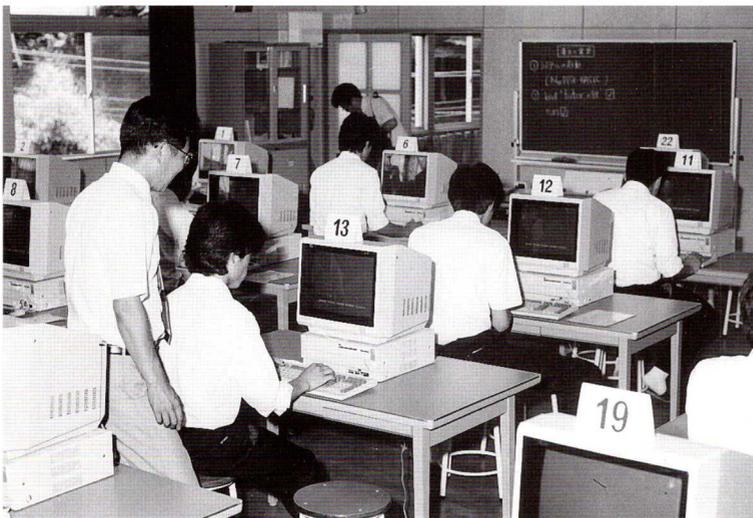
## 林業科実習①

測量実習（昭和20年代）

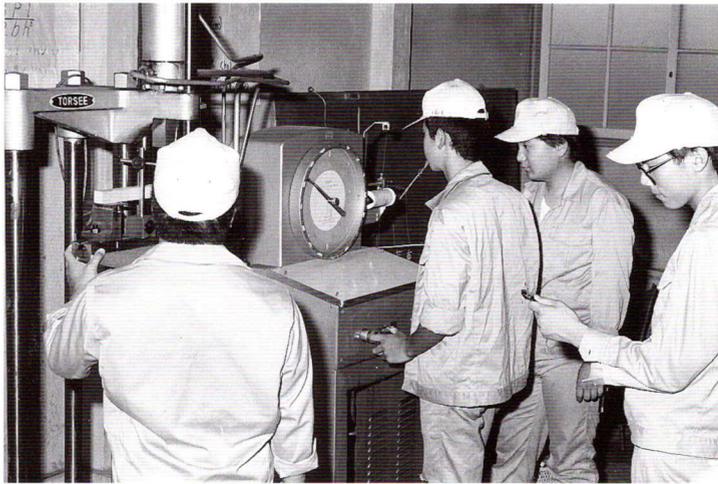
本校に残る古い測量器械  
羅針盤（コンパス）



育苗実習（昭和30年代）

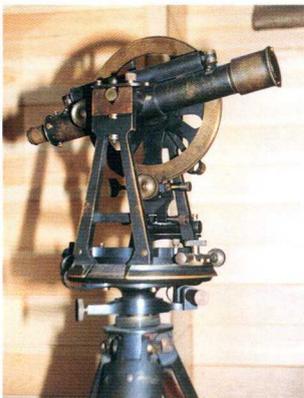


県下初のパソコンの授業  
（昭和50年代）



木材の強度試験（現在）

本校に残る古い測量器械  
 転鏡儀（トランシット）



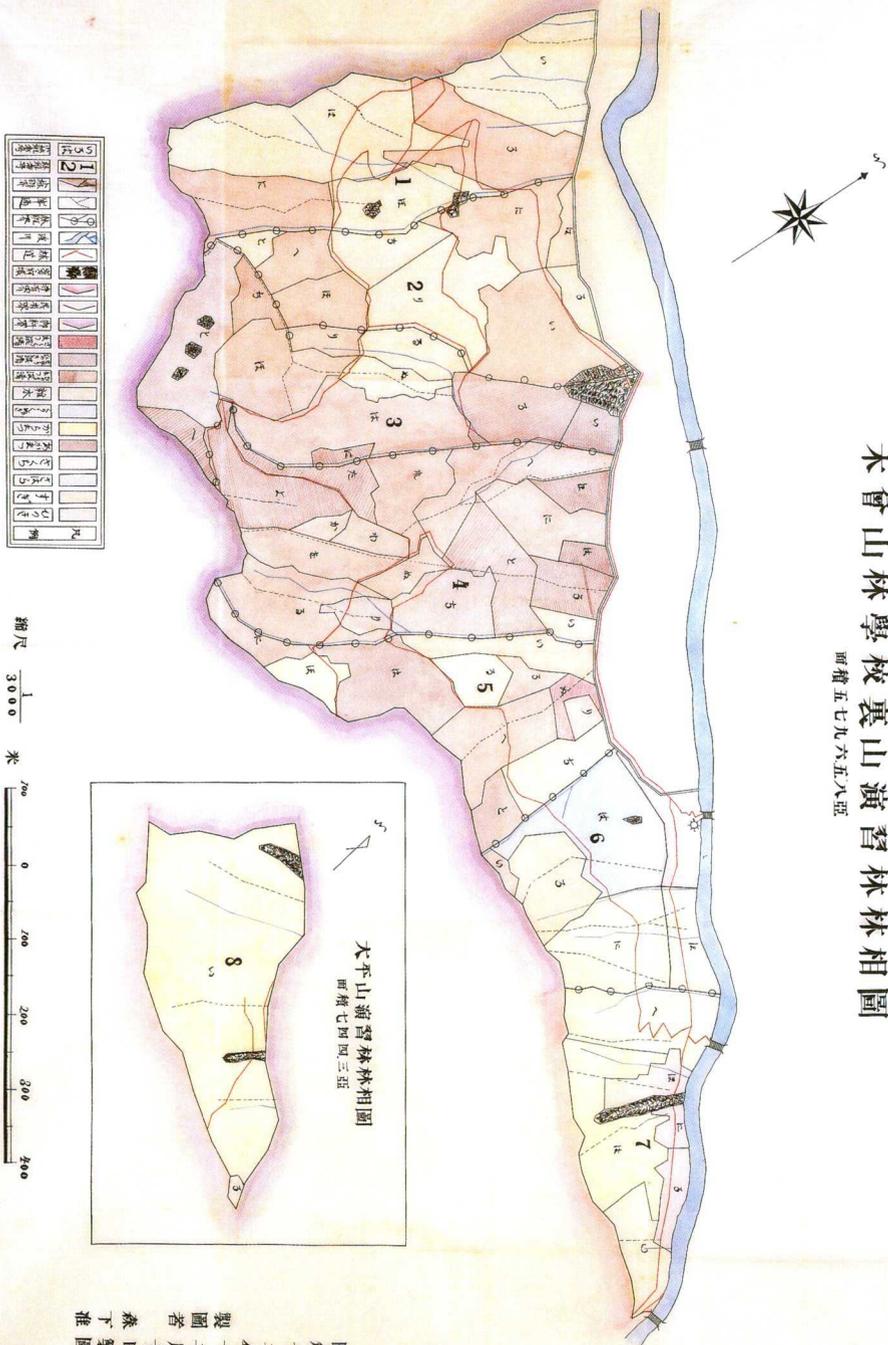
演習林にて枝打ち実習（現在）



毎年恒例の校内農業クラブ意見発表会  
 （現在）

# 木曾山林學校裏山演習林林相圖

面積五七九六五八亞



昭和十二年十二月十日製圖  
製圖者 森下准

## 演習林の自然



▲裏山演習林の全景（撮影 横沢迪・95回）



木曾景観賞に輝いた本校演習林  
四林班の見事なヒノキ人工林  
（撮影：フルタ写真館）



本校と演習林を結ぶ城山橋付近  
（現在）



木工の実習（昭和初期）



木工機械を使っでの実習  
（昭和20年代）

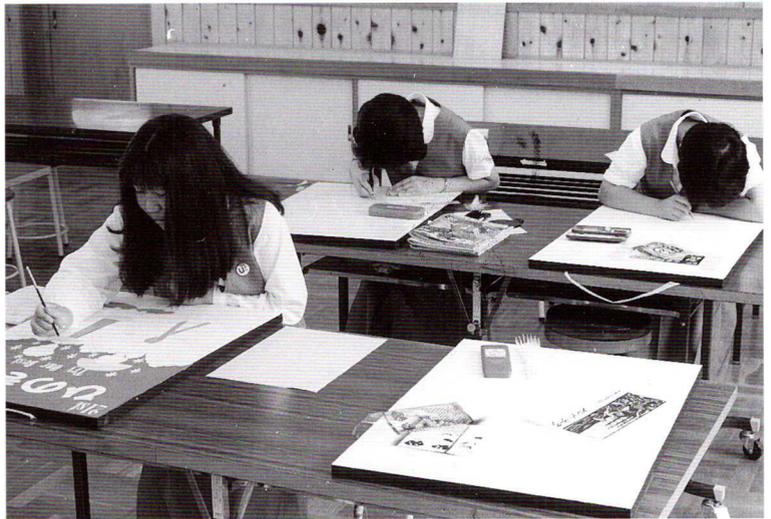


塗装実習（昭和30年代前半）



木工専修科  
木材工芸科  
工芸科  
インテリア科  
の実習

NC ルーターを使っ  
ての実習  
(現在)



デザインの  
実習 (現在)



製図の実習風景 (現在)



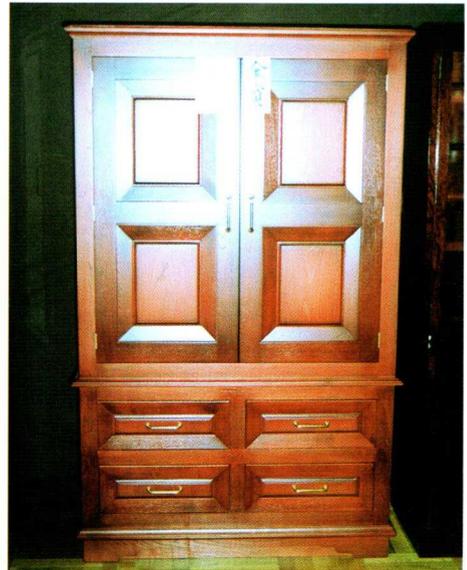
昭和61年度金賞 サイドボード 高寺正浩



昭和60年度金賞 両面戸棚 内木靖



平成4年度努力賞 整理ダンス 浅村千春



平成2年度金賞 洋服ダンス 磯貝洋介



平成7年度金賞 テーブル 山田 剛

インテリア科  
生徒作品

平成8年度金賞 両面戸棚 笠原 亮



Color 平成11年美術部共同制作



平成11年関東甲信越静岡各県環境ポスターコンクール優秀賞 田中麗子

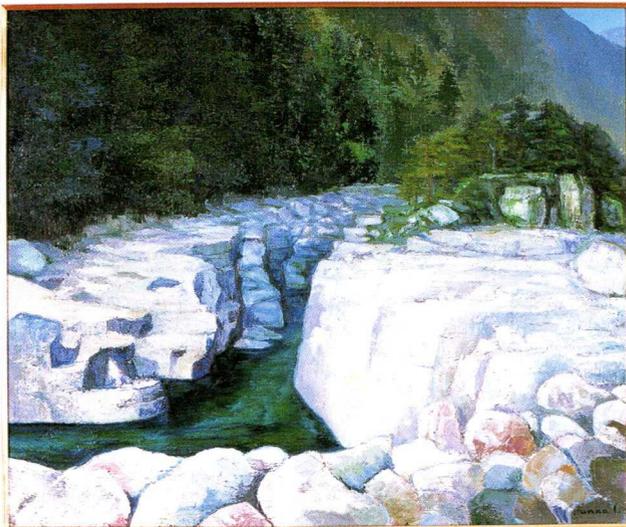


義仲館（日義村）の歴史画 挙兵  
田屋幸男（36回・林業科）

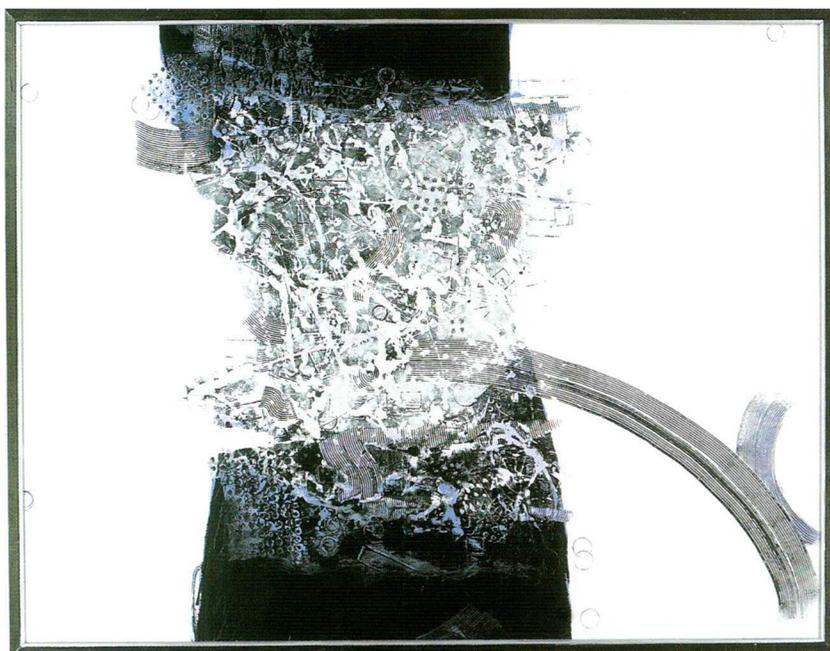
蘇門ギャラリー  
絵画



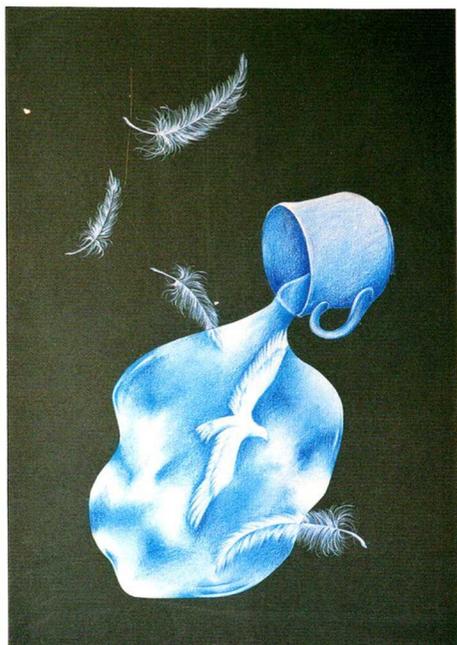
同上 木曾義仲の最期  
田屋幸男（同）



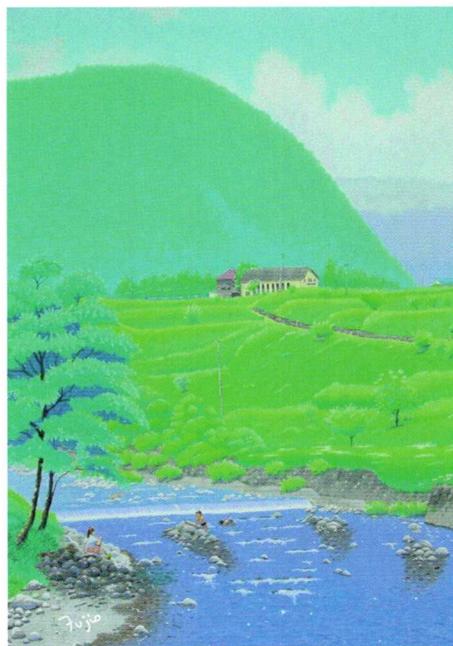
寢覚の床 稲越順郎（39回・林業科）  
蘇門会館建設記念寄贈  
（昭和56年10月25日）



回想 Monotone 5th F 80号 榎田千秋 (65回・工芸科)



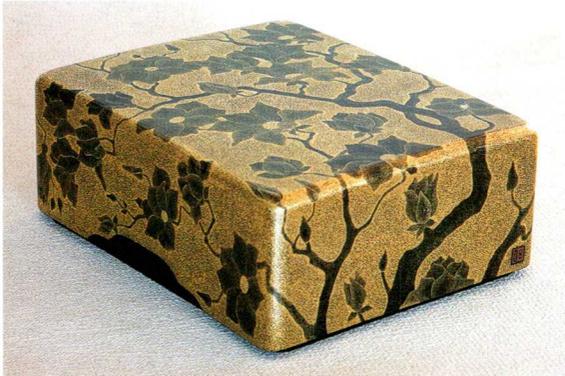
夢 野口牧子 (91回・インテリア科)



夏休み一丘の小学校—  
倉本富士男 (67回・工芸科)

## 工 芸

創立100周年記念寄贈



木蓮沈金文庫 長尾白峯（敬一・41回・林業科）



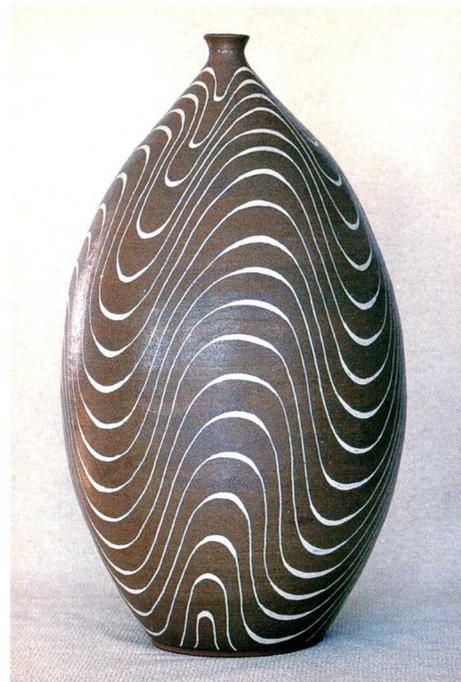
くりふき漆菊形盛皿  
北原 進（82回・インテリア科）



赤漆因陀羅盛器  
小椋正幸（83回・インテリア科）



掛け分け大鉢 奥原万喜男（同）



波紋象嵌壺  
奥原万喜男（27回・木工専修科）